

## 第34回 全国キリスト教学校人権教育セミナー

『・・・にもかかわらず』喜び、笑い、歩む  
—いのち・平和・人権—

2024年 8月16日(金)～18日(日)

### 頌栄短期大学



#### 主催

第34回全国キリスト教学校人権教育セミナー実行委員会

(メールアドレス [zenkirisemi@gmail.com](mailto:zenkirisemi@gmail.com))

全国キリスト教学校人権教育研究協議会

(ホームページ <http://zenkiri.junyx.net>)

#### 【開催の目的】

- ① キリスト教学校での人権教育のあり方を探求し、その課題を自覚し、理解を深めると共に、それぞれの現場での実践について考える。また情報交換し、励まし合う。
- ②キリスト教学校および公私立学校で人権教育に関心を持っている教職員、また人権教育に関心を寄せるキリスト者・市民・保護者・学生の出会いの場をもつ。
- ③人権教育の実践に学び合い、分かち合い、建設的な関係を築く。

第34回全国キリスト教学校人権教育セミナー要項  
『・・・にもかかわらず』喜び、笑い、歩む  
—いのち・平和・人権—

■開催趣旨

今、学校は学校間競争、生徒減少、教育行政からの「効率化」に伴って危機に瀕しています。その中で教職員は、「多忙化」に見舞われ、その顔から笑みを失い、眉間にしわを寄せていないでしょうか。

イギリスの競馬の調教師の言葉に「Happy people make happy horse」というのがあるそうです。それを学校教育になぞらえるならば「Happy teachers make happy students」。厳しい状況の中「にもかかわらず」笑いを忘れず喜んで、命の尊厳・世界の平和・人権の確立に向けて歩いていこう、その歩みを支えあうセミナーにしたいと考えています。

■日程：2024年8月16日（金）～18日（日）12時

■会場：16日＝フィールドワーク（コースA～Dのプログラム毎に集合場所・時間が異なります。）  
16日16時～18日12時 頌栄短期大学  
（兵庫県神戸市東灘区御影山手1丁目18-1）

最寄り駅：阪急神戸線 御影駅[北口]から約700メートル

または神戸市営バス 御影山手バス停から約300メートル

↳（阪急六甲駅下車 南200メートル神戸市営バス「阪急六甲」32系統乗車）

↳（JR 六甲道駅 北口ロータリーで神戸市営バス32系統乗車）

バス時刻表は最終ページに掲載しています（6月1日現在）。

- ・スマホ等のナビゲーションを使う際は「頌栄幼稚園」で検索して下さい。
- ・阪急御影駅からは長い坂が続きます。体調を心配される方には、神戸市営バスまたはタクシーの利用をお勧めします。

●参加費：事前振込をお願いします。（インボイス未登録）

・出張参加16,000円 / ・自費参加14,000円 / ・学生4,000円

\*参加費用は、締め切り日（7月18日）までにお振込みください。

\*参加費にはセミナー諸費用、資料代、ニュース購読・協議会運営協力費が含まれます。

\*16日のフィールドワーク（A～D）に参加ご希望の方は、現地で参加費を頂きます。

またコースによって別途交通費が必要な場合があります。

●申込み・振込：7月18日（木）までに、申込み専用サイトよりお申し込み下さい。

\*締め切り日を過ぎたお申し込みは受け付けできません。

\*今回は、オンライン開催は実施いたしません。

\*8/16のフィールドワーク、および8/17の分科会では、参加人数を調整する場合があります。お申し込み時にそれぞれ第2希望まで必ずご記入ください。

●申込み専用サイト：

<https://forms.gle/Q15xMJ8HpStFe6ZR6>

\*当協議会ホームページ【 <http://zenkiri.junyx.net> 】からもアクセスできます（全キリで検索）。また、右のQRコードを読み取ってアクセスできます。

\*パソコンやスマホを使用しない方は、電話072-875-8470（日本基督教団部落解放センター）にご相談ください。



●参加費振込先：【 郵便振替口座 00180-3-731838

加入者名 人権教育セミナー実行委員会 】

\*「2024 セミナー参加費」と記入してください。

\*振り込み締め切り：7月18日(木)

●宿泊：各自でご予約ください。（宿舎が取りにくい時期です。早めのご予約をお勧めします）

●お問い合わせ：メールでお願いします。【 [zenkirisemi@gmail.com](mailto:zenkirisemi@gmail.com) 】

●主催：第34回全国キリスト教学校人権教育セミナー実行委員会  
全国キリスト教学校人権教育研究協議会

●後援：日本カトリック学校教育委員会／キリスト教学校教育同盟／全国在日外国人教育研究協議会／日本カトリック学校連合会／日本キリスト教協議会（NCC）  
教育部

●賛同：外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会／日本カトリック正義と平和協議会／日本カトリック部落差別人権委員会／在日韓国人問題研究所／在日大韓基督教会社会委員会／マイノリティ宣教センター／日本キリスト教協議会（NCC）／NCC 在日外国人の人権委員会／日本基督教団在日韓国・朝鮮人連帯特設委員会／NCC 部落差別問題委員会／日本基督教団部落解放センター／日本キリスト教婦人矯風会／日本聖公会人権問題担当者／日本バプテスト同盟／日本バプテスト連盟日韓・在日連帯特別委員会／日本バプテスト連盟部落問題特別委員会／日本YWCA／神戸学生青年センター／部落問題に取り組むキリスト教連絡会議／カトリック大阪高松大司教区シナピス／カトリック大阪高松大司教区部落差別人権活動センター

（2024年6月現在）

## 第34回全国キリスト教学校人権教育セミナー 日程

<b>8月16日（金） フィールドワーク</b>	
<b>頌栄短期大学</b> （開会礼拝・開会行事・聖書研究）	
フィールドワーク	A：モスク・シナゴーク訪問 B：姫路市平和資料館と太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰霊塔 C：賀川記念館（賀川豊彦を越えて） D：頌栄短期大学の保育と教育
16：00	頌栄短大 受付開場
16：30	開会礼拝 阿部慶太さん
17：00～17：50	オリエンテーション・基調報告・会場校挨拶
17：50～18：20	夕軽食（パンを用意します）
18：20～20：00	聖書研究 沢知恵さん
20：00～20：45	（自由参加）沢さんとミニ懇談
<b>8月17日（土） 頌栄短期大学 全体会・分科会・総会</b>	
8：30～	開場 書籍販売
9：00～9：20	朝の祈り・「いばらの冠」（キリスト教学校向け人権教育副読本）の紹介
9：20～10：50	主題講演 浜矩子さん
10：50～12：30	全体会 1. 課題提起：武田緑さん 「ボトムアップで目指す、民主的でインクルーシブな学校づくり」 2. 分科会紹介
12：30～13：30	昼食（お弁当を用意します） 書籍販売
13：30～16：30	分科会 1. キリスト教学校でなぜ人権教育が必要なのか 2. 外国にルーツを持つ子どもたちに思いをはせる 3. 語り続ける部落問題 4. キリスト教学校と障がいを抱える生徒 5. 「頌栄ジェンダーしゃべり場」 6. 民主的でインクルーシブな学校づくりの具体を考えよう！
17：00～	協議会総会
18：00～	全国交流会（軽食・飲み物を用意します）
19：30～	（任意参加の交流会）

<b>8月18日(日) 頌栄短期大学</b> 分かち合い・派遣礼拝	
9:00	開場 書籍販売
9:30~9:50	朝の祈り(オルガンメディテーション)
9:50~11:10	分かち合い
11:30~	派遣礼拝
12:00	最終連絡・閉会

## プログラム内容

### 8月16日(金)

フィールドワーク(事前申込のみ。当日参加はできません。)

#### A: モスク・シナゴーク訪問(定員20名)

案内者: 大和泰彦さん(神戸学生青年センター)

講師: 田淵八州雄さん(NPO 法人大本イスラエル・パレスチナ平和研究所)

集合場所: JR 元町駅東改札口 講話場所: カトリック神戸中央教会

集合時刻: 12:00 終了予定 15:30

参加費: 1000円

神戸は世界でも珍しい多宗教共存都市といわれ、北野地区には徒歩圏内に多様な宗教施設が点在しています。町を歩きモスクとシナゴークを見学した後、中東和平プロジェクトを通じたイスラエルとパレスチナ双方の青少年を招いての交流行事に携わり、約20年にわたり活動を続けてこられた田淵八州雄さんのお話を伺います。これまでの活動や現状、平和に対する思いなどお聞きし、宗教とは、平和とは何か、私たちにできる事は何なのかを再考するひと時にしたいと思います。

#### B: 姫路市平和資料館と太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰霊塔(定員20名)

案内者: 宮内陽子さん(愛徳学園中学校高等学校元教員)

集合場所: JR 姫路駅中央改札口

集合時刻: 11:00 終了予定 14:15

参加費: 1000円 昼食を済ませてお集まりください。

ロシア、イスラエルがウクライナ、ガザに激しい空爆を行っています。かつて日中戦争のさなか、日本は中国の上海、南京、重慶などの都市を無差別爆撃し、民間人を殺傷しました。それはやがて反転し、英米軍が日本全土を空爆、米軍による広島、長崎への原爆投下と合わせ、死者50万人を超す惨事となりました。今回日本の空襲被害について改めて学ぶ中で、無差別爆撃とは何か今一度考え、行動へとつなげる機会としたいと思います。※姫路市は市中心部が壊滅する空襲で500人以上が亡くなりました。戦後、市長が発起して全国の空襲被害都市に呼びかけ慰霊塔を建設、1996年には空襲を記憶する「平和資料館」を開設しました。

C：賀川豊彦を越えて ～「わたし」「わたしたち」を問い直す～ （定員 10名）

案内者（講師）：小野歩さん（社会福祉法人イエス団賀川記念館主任）

集合場所：賀川記念館（JR 三ノ宮 阪急・阪神線 神戸三宮下車 約 1000メートル）

集合時刻：12：30 終了予定：15：00

参加費：1000円

賀川豊彦は大正・昭和期のキリスト教社会運動家・牧師。労働組合、農民組合、生活協同組合運動等に大きな足跡を残しました。しかし一方で、差別的な思想のもとに書かれた著書が厳しい批判を受けています。そのような歴史を誠実に検証しつつ賀川の事業を継承している現場を訪ねます。賀川の足跡を学びながら、現代に生きる「わたし」を問い直したいと願っています。

D：頌栄短大の保育と教育（定員20名）

案内者：相澤弘典さん（頌栄保育学院理事長・院長）、頌栄短大の学生さん

集合場所：頌栄短大

集合時刻：13：00 終了予定 16：00

参加費：1000円

頌栄の歴史は日本の保育の歴史です。今回の会場校である頌栄短期大学は現存する日本最古のキリスト教主義の保育者養成校です。この頌栄でフィールドワークをします。

学生の案内によるキャンパス・ツアーの後、保育の歴史と頌栄の教育について分かち合います。保育は子どもの人権を守ることです。教育は子どもの人権を守ることです。頌栄で保育と教育をめぐる社会の課題についてみなさんと一緒に考えます。

■ 開会礼拝 「今だからこそ、人権教育を」 阿部慶太さん（フランシスコ会）

1960年北海道に生まれる。大学卒業後、フランシスコ修道会に入会。1993年司祭叙階。

現在、同修道会のJPIC委員会、海外宣教事務局などの仕事に従事。

聖書箇所：マタイによる福音書 23章 27節

偽善な律法学者、パリサイ人たちよ。あなたがたは、わざわいである。あなたがたは白く塗った墓に似ている。外側は美しく見えるが、内側は死人の骨や、あらゆる不潔なものでいっぱいである。

近年はコンプライアンスが厳しくハラスメントが処分され、一見社会が良くなっているかにみえます。しかし、劣悪な企業やハラスメントはあり、転職サイトが意外に盛況だったり、私も仕事からその種の相談を受けます。本当に人権の状況は良くなっているのでしょうか？

私自身、2年前のこのセミナーで聞いた虐待事例から、自分にも当てはまるケースがあると感じました。それだけでなく、10代で受けた教育の中で人権意識を妨げるものがあつたことにも気が付きました。学校は教育を受ける側に影響を及ぼす場所だと思えます。そのため、人権教育の実践は影響を受けやすい年代に対して必要なものだと思っています。

（開会礼拝の中のメッセージの中に不適切な表現や用語が登場しますが、時代的な背景や司式者の体験を理解するために使われるものなので、そのまま使用します。）

## ■ 基調報告 セミナー実行委員会

現在の学校・教職員・子どもたちを取りまく困難な状況を踏まえながら、「にもかかわらず」子どもたちの中で行う人権教育を考え、実践する手がかりとするこのセミナーの意味を提起したいと思います。

## ■ 聖書研究 講師：沢知恵さん（歌手・ハンセン病療養所の音楽文化研究者）

講師紹介：「日本語をもっとも美しくうたう歌手」と評される沢さんは、東京藝術大学では朝鮮民主主義人民共和国の音楽、岡山大学大学院でハンセン病療養所の音楽文化の研究に取り組み、2022年に「うたに刻まれたハンセン病隔離の歴史 園歌はうたう」（岩波ブックレット）を刊行されました。牧師を両親に持ち日本・韓国・アメリカで、賛美歌などの教会音楽に触れて育ち、さまざまな人・いのちをめぐる課題とのかかわりの中で聖書を読んでこられた歩みの中で“気になる言葉、気にしてほしい言葉”や聖書の読み方についてお話していただきます。

8月17日（土）

## ■ 主題講演 「経済と人権～その表裏一体性を考える～」

講師：浜矩子さん（エコノミスト・同志社大学名誉教授）

講師紹介：1975年一橋大学経済学部卒、三菱総合研究所入社。同社初代ロンドン駐在事務所長・経済調査部長・政策経済研究センター主席研究員などを経て2004年～2023年同志社大学大学院ビジネス研究科教授。カトリック信者。経済動向に関するコメンテーターとして内外メディアに執筆や出演多数。著作に「どアホノミクスへ 最後の通告」「小さき者の幸せが守られる経済へ」「人が働くのはお金のためか」「縁辺労働に分け入る」（共著）など。

講師より：経済活動は人間に固有の営みです。だから、経済活動は人間を幸せに出来なくてはならないものです。人間が幸せであるための本源的な条件は何か。それは人権が守られていることです。だから、経済活動は人権の礎でなければなりません。

ところが、現実の世の中においては、一見したところ、経済活動が人間から人権を奪っているようにみえます。それはなぜなのか。何が欠けているからなのか。これらのことを、皆さんと一緒に追求したいと存じます。

## ■ 全体会「ボトムアップで目指す、民主的でインクルーシブな学校づくり」

講師：武田緑さん（学校DE&Iコンサルタント Demo 代表）

講師紹介：学校における【DE&I（多様性・公正・包摂）】をテーマに、研修・講演・執筆、ワークショップやイベントの企画運営を通して学校現場や教職員への伴走サポート、教育運動づくり等に取り組んでいる。フリーランスとしての活動のほか、学校DE&Iの実現のためには現場のエンパワメントが必要との思いから、全国の教職員らと共にNPO法人School Voice Projectを立ち上げ、現在は理事兼事務局長として活動に従事している。

今の学校をめぐるのは、不登校児童生徒が30万人に迫っていることに象徴されるように、多様な背景や特性・個性を持つ子どもたちを包摂できていない・排除していると言わざるを得ない状況があります。一方で、学校現場は教員不足や業務過多によって厳しい環境に置かれており、教職員は心身の健康を保つことすら

難しい状況にあります。民主的でインクルーシブな、子どもも大人も幸せな学校をつくるために、今必要なことは何なのか。一緒に考える機会になればと思います。

## ■ 分科会紹介

◇午後の各分科会の概要を紹介します。「分科会に一つしか参加できないのが残念」という声を踏まえて、各分科会でどんな話が出るのかを紹介します。

## ■ 分科会

### (1) キリスト教学校でなぜ人権教育が必要なのか

発題者：森兼真紀子さん（ノートルダム女学院中学高等学校で社会科・宗教科を担当。3年前から教皇フランシスコ回勅『ラウダート・シ』『兄弟のみなさん』をもとに総合学習で環境、戦争、人権をテーマに授業を実施している。）

鳥井新平さん（日本基督教団近江平安教会牧師。1957年北海道札幌生まれ、大阪育ち。

36年間、キリスト教学校で働いた後、2年前より、牧師。私にとっての全キリは@@@）

司会者：永井晃さん（松蔭中学校・高等学校教員）

今の学校は、本当に一人一人が尊重され、のびのびと自分を成長させ、また他者をも大切にする場となっているでしょうか？「多様性」「個性」「人権」…耳触りのいい言葉はしょっちゅう聞かれるものの、実際は教員にとっても生徒にとっても窮屈で委縮してしまう場となっていないでしょうか？そんな今、「キリスト教学校に人権教育は必要なのか？なぜ必要なのか？それは実施できているのか？公立学校の人権教育とどこが違うのか？」、そのようなことを、本音で語り合えればと考えます。「でも、いったい何からはじめたらいいのだろうか？」…そんな疑問を持ち寄って、お互いの話を聴き合ひましょう。全キリ初期から関わる二人の講師に体験を聞きましょう。

### (2) 外国にルーツを持つ子どもたちに思いをはせる

発題1「すべての子どもが輝くために～外国につながる子どもたちの未来を拓く～」

山本紀子さん（元兵庫県立高校教員。兵庫県在日外国人教育研究協議会事務局。多文化共生教育の実現をめざし、県や全国の外国人生徒交流会、外国人生徒高校特別枠入試の調査研究などを担当。）

外国につながる子どもたちは、本名やルーツなどに誇りをもてず、日本語指導が必要な子どもたちは学習や進路実現に課題を抱えています。支援の自治体間格差がある中、兵庫県で悩みや夢を語り合う交流会などの「居場所」づくり、相談業務、高校入試と高校での支援拡充を模索しています。外国につながる子どもたちの未来を拓くために私たち教員や大人は何をすればいいのか、参加者の皆さんと課題解決の方策と展望を学び合いたいと思います。

発題2「子どもの可能性を奪わない教育を目指して

～多文化多言語の背景をもつ子どもたちの学びを支える～



森山玲子さん（大阪府立高校最初の「枠校」長吉高校で多様なルーツをもつ生徒と出会い、300人超のルーツ生の進路を支援。現在、府立大阪わかば高校に勤務、「枠校」立ち上げに携わる。多文化共生・日本語チーム主担。大阪府立学校在日外国教育研究会事務局。大阪府教委「安全で安心な学校づくり」事業テーマ「在日外国人教育」共同研究員。）

長年携わってきた「枠校（日本語指導が必要な帰国生徒、外国人生徒入学者選抜）」での働きを通して、子どもたちを取り囲む現状や課題などをお話します。

司会者 上山史郎さん（大阪女学院中学校・高等学校教員）

### （3）語り続ける部落問題

発題 1 川崎那恵さん（フリーアクティビスト）

発題 2 水野松男さん（NCC 部落差別問題委員会）

司会者 上野玲奈さん（日本基督教団部落解放センター主事）

坂東資朗さん（西南学院中学校高等学校教員）

部落差別をどのように語り、解消を目指すのか、そして学校教育の中でどのように部落問題に関する学びを進めていくかについて共に考えます。川崎さんが部落女性として向き合ってきた家父長制による抑圧やジェンダーの視点もふまえた日本社会の課題や違和感を共有します。また、今年の夏に発行される新編『いばらの冠』の水野さんの部落差別解消学習から「皮革と部落」の論点も確認し、部落出身者が肯定感を持てる部落差別をなくす教育実践についても考えたいと思います。

### （4）キリスト教学校と障害を抱える生徒

発題 宮寺良平さん（啓明学院中学校高等学校教諭 関西学院高等部元教諭）

司会者 古口初穂さん（大阪女学院中学校・高等学校教員）

キリスト教学校では、障がいを抱えた児童生徒とどこまで「共生」できているでしょうか。かつて大きな闘いになった「市立尼崎高校入学拒否」問題の原告、玉置真人さんが入学した関西学院高等部で担任をし、2017年に玉置さんが亡くなるまで関わった宮寺さんから話を伺い、障がいを持った生徒を受け入れることでどんな教育が可能で、どこに困難があるのか、教員と生徒がどんなことを学ぶことができるかを語り合いたいです。

### （5）「頌栄ジェンダーしゃべり場」

発題：アルテイシアさん（作家。神戸生まれ。ジェンダー、フェミニズム、家族問題などをテーマに執筆、講演や授業も行う。著書『ヘルジャパンを女が自由に楽しく生き延びる方法』『自分も傷つきたくないけど、他人も傷つきたくないあなたへ』『田嶋先生に人生救われた私がフェミニズムを語っていいですか!?』他多数。

司会 工藤尚子さん（同志社香里中学校高等学校教員）

ジェンダー、フェミニズム、SOGI、特権…等について、わかりやすく説明します。ジェンダーギャップ指数 141カ国中 125位、ジェンダー後進国の日本において、子どもたちをジェンダーの呪いから守るために何ができるか？一人ひとりが自分らしく生きられる社会を作るため、私たちは何をすべきか？といったテーマで語ります。

(6) 民主的でインクルーシブな学校づくりの具体を考えよう！

～何からどうする？参加型ワークと対話を通して～

発題：武田緑さん（学校 DE&I コンサルタント Demo 代表）

学校のあり方を見直していくための鍵になる「社会モデル」「公正(Equity)」「子どもの参加」の3つについて、参加型のワークを通して理解を深めます。

また、具体的に何をどのように変えていけばいいのか、その際のハードルをどう超えていけるのかなど、皆さんと現場の実情を踏まえて対話できればと思います。

最後には勤務校での最初の一步＝アクションプランを持って帰っていただけるようにしたいと考えています。

## ■ 全国キリスト教学校人権教育研究協議会（全キリ）総会

全国キリスト教学校人権教育セミナーは1990年から始まり、毎年8月のセミナーを継続する中で、1994年に「全国キリスト教学校人権教育研究協議会」を結成しました。以来、現地実行委員会と共に毎夏の全国セミナーを企画・開催しています。総会ではこの1年間の活動報告を受け、これからの取り組みをみんなで定めていきます。セミナー参加者は全キリ会員になりますので、ぜひご出席ください。

8月18日（日）

## ■ 分かち合い

1つのグループに、すべての分科会の参加者がいるように分かち合いグループを編成します。このセミナーに参加して感じ考えたこと、各分科会で提起された課題、疑問や問いかけ、今後への思いなどを語り合い共有する場にします。

## ■ 派遣礼拝

相澤弘典さん（頌栄保育学院理事長・院長）

聖書 イザヤ書 40章 28-31節

ここからそれぞれの「セミナー」が始まります。3日間で得た学び、与えられた出会い、示された課題のひとつひとつがわたしたちの生きる力となることを信じています。喜べない、笑えない現実「にもかかわらず」わたしたちは歩みます。子どもたち、生徒たち、若者たちという「わたしたちの希望」と共に歩みます。

さあ、ここから遣わされて、それぞれの現場へと歩み出しましょう！

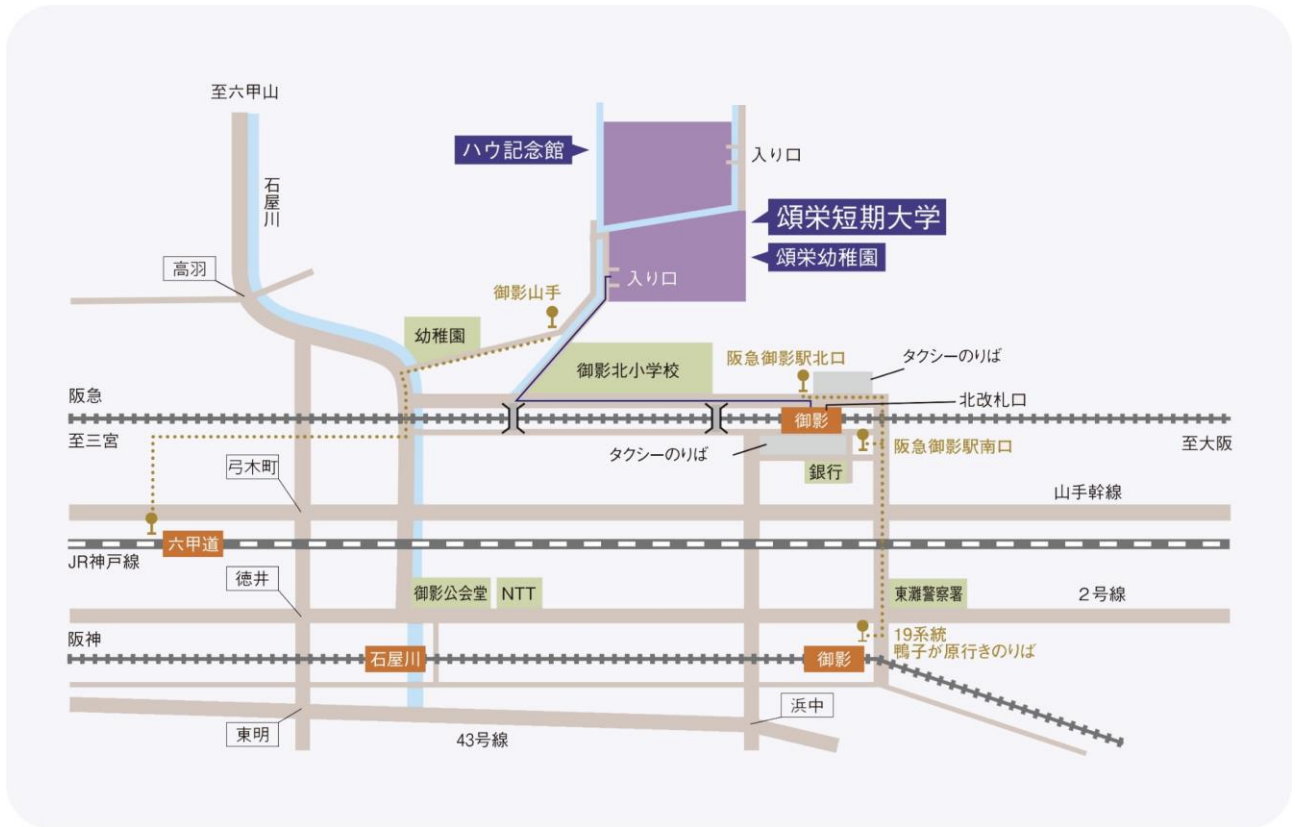
「全キリ グラウンド・ルール」とは、「人権教育セミナー」に参加されるすべての方たちが、  
セミナー中や終了後も不快な思いをせずに気持ちよく過ごすための基本的な約束事です。  
セミナープログラムはもとより、協議会の総会の進め方などにも適用される内容です。  
(2009年8月6日発足、2015年8月17日改訂、2019年8月6日改訂、2021年6月オンライン版作成、2024年6月改訂)

## 全キリ グラウンド・ルール

初めて参加される方への配慮と共に、以下の点についてどうぞご協力ください。

1. 無理のない範囲で、積極的に参加なさってください。
  - ・お互いのペースや、うちとけ方を尊重しましょう。
  - ・参加者が自由に話せるように、お互いに耳を傾けましょう。
  - ・話したくないことは話さなくてかまいません。
2. 守秘義務を守ってください。
  - ・セミナーで見聞きした個人情報は、その場のみにとどめてください。名前・所属・写真・事例などを、本人の許可なく他者に漏らすことは「アウトティング」となり許されません。
  - ・いまインターネットではマイノリティに対する不当なスピーチがまん延しています。SNSをはじめ、ソーシャルメディアへの安易な投稿は避けてください。
  - ・セミナー報告を他の媒体に掲載する際、とくにマイノリティ当事者が講師の場合、必ず本人の了解をとって報告記事をまとめるようにしてください。
3. セミナーにはさまざまな参加者がおられます。
  - ・参加者の中には、自分とは異なる生活スタイル・価値観・問題をもっている人がいることを理解しましょう。
  - ・自分の国籍・セクシュアリティ・経済的状況・職場の状況などを話したいとは限りません。
  - ・批判し、話し合いを深めることは大切です。しかし互いに尊重し合い、人格を否定するような言動はしないよう心掛けましょう。
  - ・セミナーの目的からかけ離れた個人的な宣伝はご遠慮ください。
4. 言葉による暴力・セクハラ・パワハラは厳禁です。
  - ・たとえ怒りなどの感情をもつことがあったとしても、それを他の参加者に向けて攻撃したりしないようお願いします。
  - ・相手や当事者が不快に思う言動は、ハラスメントです。私たちは誰でも両当事者となり得ることを心に留めましょう。
  - ・セミナー中にハラスメントと思われる言動を見聞きした場合、可能ならばその場で注意を喚起するとともに、実行委員会にお知らせください。実行委員会・運営委員会が必要な対応をします。
  - ・セミナーの趣旨や講師の考えを攻撃する意図を持った方の参加・入場はお断りします。
5. セミナー中は、携帯電話をマナーモードに切り替え、他の方々の迷惑にならないようお願いします。  
(NPO法人ぶれいす東京編集・発行の「グラウンド・ルール」他を参考にさせていただきました。)

・会場(頌栄短期大学)へのマップ



バス時刻表 (神戸市営バス)

・阪急六甲 発 32系統 御影山手(頌栄短大最寄り) 行き

	平日	土・日曜
朝8時		05分 35分
昼15時	20分	

・JR六甲道 発 32系統 御影山手行き

	平日	土・日曜
朝8時		00分 30分
昼15時	15分	

・御影山手(頌栄短大最寄り) 発 32系統 阪急六甲・JR六甲道行き

	平日	土曜	日曜
昼12時			12分 42分
13時			12分 42分
夕18時	12分 37分 57分	17分 52分	
19時	12分 27分 42分	27分	
20時	02分 37分	02分 37分	